

第13回 地方自治研究全国集会 in茨城つくば

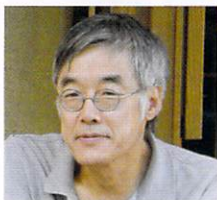
共同の力で、 まもろう、いのちとくらし つくろう、憲法がいきる 地域・日本

1日目

10月1日(土)

会場:茨城県つくば市 つくば国際会議場

≫ 全体会 開会12:45 ~ 17:00



記念講演

民主主義を再定義する

1951年生まれ。1981年「さようなら、ギャングたち」でデビュー。「日本文学盛衰史」「さよならクリストファー・ロビン」(谷崎潤一郎賞)、「ぼくらの民主主義なんだぜ」「民主主義ってなんだ?」(SEALDsと共著)など著作多数。

講師
作家・明治学院大学教授
高橋 源一郎

≫ 歓迎文化行事

常陸乃国ふるさと太鼓

つくばの地に誕生して40年。国立劇場や善光寺でも演奏。最近はお太鼓で平和を訴えています。



≫ 基調フォーラム

現場からの証言と討論会

「憲法をいかに地域、日本をどうつくるか?」(仮称)

≫ 物産展・書籍販売

開催地・茨城の特産品をはじめ、物産、書籍を販売します。

≫ ナイター講座 17:30 ~ 19:00



●第1テーマ

つくば国際会議場

暮らしの基盤を確立し、安全・安心で
環境にやさしい地域をつくる

講師 岡田 知弘 (京都大学教授)



●第2テーマ

つくば国際会議場

人間らしく生きるために、
社会保障を充実する

講師 芝田 英昭 (立教大学教授)



●第3テーマ

つくば国際会議場

暮らしをささえ、自治を育て、
住民本位の自治体をつくる

講師 平岡 和久 (立命館大学教授)

≫ 青年企画 (自治労連主催)

とことん語ろう! 青年交流会

開会: 17:30~19:00 つくば国際会議場
全国から自治体・公務公共の職場で働く青年が集まり、仕事のやりがいや悩み、思いをとことん自由に語る交流会です。初参加の人、大歓迎!



2日目

10月2日(日)

25の分科会・2つの現地分科会を開催
会場:分科会 筑波大学キャンパス
現地分科会 茨城県内

[分科会] 開会9:30~15:30 (現地分科会を除く)

[主催]

第13回地方自治研究全国集会実行委員会

原発問題住民運動全国連絡センター、公害・地球環境問題懇談会、自治体問題研究所、自由法曹団、障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会、新建築家技術者集団、新日本婦人の会、全国借地借家人組合連合会、全国商工団体連合会、全国生活と健康を守る会連合会、全国地域人権運動総連合、全国保育団体連絡会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、(公財)日本医療総合研究所、日本科学者会議、日本母親大会連絡会、日本婦人団体連合会、農民運動全国連合会、民主教育研究所、日本自治体労働組合総連合、茨城県現地実行委員会

[賛同団体] 全国労働組合総連合、中央社会保障推進協議会、日本平和委員会

[後援] 高崎市、北茨城市、大子町、ひたちなか市、那珂市、東海村、大洗町、水戸市、笠間市、城里町、茨城町、鉾田市、鹿嶋市、神栖市、潮来市、行方市、かすみがうら市、土浦市、阿見町、稲敷市、つくば市、牛久市、取手市、河内町、利根町、筑西市、結城市、下妻市、桜川市、八千代町、五霞町、坂東市、常総市、つくばみらい市、守谷市、石岡市、古河市 (順不同・4月25日現在)

[事務局] 自治労連 (日本自治体労働組合総連合)

〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館 TEL.03-5978-3580
FAX.03-5978-3588 E-mail / info@jichiroren.jp http://www.jichiroren.jp/

路線図



●つくば駅までの所要時間と経路
東京駅より50分=JR山手線・京浜東北線「秋葉原」でつくばエクスプレスに乗り換え。羽田空港より90分=東京モノレール「浜松町」でJR山手線・京浜東北線乗り換え。「秋葉原」でつくばエクスプレスに乗り換え。成田空港より115分=京成本線「日暮里」でJR山手線・京浜東北線乗り換え。「秋葉原」でつくばエクスプレスに乗り換え。

第2テーマ 人間らしく生き、豊かに学ぶ (分科会番号9-19)

**9 貧困問題と生活保護
セーフティネットを考える**

貧困が一層拡大する中、生活保護基準が引き下がり、制度が改悪されています。憲法25条をいかに、誰もが人間らしい生活を営めるように、セーフティネットのあるべき姿を考えます。

助言者 吉永 純 (花園大学)

**12 障害者権利条約を
生活の中で活かすために**

障害者福祉制度の見直しが検討され、負担増も狙われています。障害者児の生活に生じている課題を明らかにして、障害者権利条約を活かした「あるべき支援」のあり方を考えます。

助言者 佐藤 久夫 (日本社会事業大学特任教授)

**15 生存権としての
公的医療保険制度を考える**

市町村国保の段階的統合、都道府県単位化等の広域化、高すぎる保険料、滞納・差し押さえ、窓口負担などの問題をとりあげ、誰でも、どこでも、いつでも、安心して受けられる公的医療保険制度を考えます。

助言者 神田 敏史 (神奈川県職労連委員長)

**18 子どもの権利と生活・教育を
考える**

“子どもの貧困問題”について安倍政権は根本的な打開策を打ち出していません。教育現場・学童保育や地域社会など子どもを取りまく状況を見つめ、子どもの権利を守る取り組みや、現場の実態などから学びあい、そのあり方を考えます。

助言者 増山 均 (早稲田大学文学学術院教授)

**10 公契約適正化で、地域住民と
公務労働者のくらしを守る**

従前の公契約条例制定の取り組みなどを紹介しながら、公契約条例を活かしワーキングプアをなくし、地域住民サービスの質の向上を目指すこれからの自治体の雇用・労働政策のあり方を考えます。

助言者 永山 和利 (元日本大学教授)

**13 地域医療と自治体病院の
役割を考える**

地域医療の実態を見つめ、住民のいのちと健康を守る真の地域包括ケアと自治体病院の役割について考えます。

助言者 長友 薫輝 (津市立三重短期大学教授)

**16 学ぶ自由を保障する社会教育を
めざしてー地域・住民の視点から**

教育への首長の介入を強める教育制度の中で、「権利としての社会教育」の創造が求められています。図書館、公民館など社会教育・生涯学習の実践に学び、地域づくりと社会教育を考えます。

助言者 佐藤 一子 (東京大学名誉教授)

**19 安全で豊かな給食を
すべての子どもたちに**

子どもたちの貧困な食生活の中で、食育はますます重要です。TPPや放射能汚染問題が注目され、給食の大規模化や民間委託化が進むなか、給食行政の役割を再認識し、安全で豊かな学校給食の方向性を考えます。

助言者 竹下 登志成 (自治体問題研究所・研究員)

**11 「最後の一刻まで人間らしく」
～高齢者の暮らしを地域から考える**

高齢者の思いに応えていないこの国の社会保障。「高齢者と家族の生活」とそれを支える医療介護等の「労働」を「人権」としてとらえ直すとともに、「地域」をキーワードに、住民の役割と国・自治体の責任を考えます。

助言者 碓井 敏正 (京都橋大学名誉教授)

**14 ヘルスプロモーション活動による
健康づくり**

ヘルスプロモーションは、WHOが提唱した健康プロセスで、従来の疾病予防よりさらに生き甲斐や幸福感をめざしています。その実践例や取組状況、公衆衛生の役割等を考えます。

助言者 根岸 京田 (東京保健生活協同組合理事長)

**17 子どもが健やかに育つ、保育、
子育て支援を (就学前)**

国的外れな施策や新制度が導入されたなか、保護者・地域住民・保育労働者の共同で誰もが安心して子どもを生み育てることができる、自治体、地域社会づくりを考えます。

助言者 大宮 勇雄 (福島大学教授)



第3テーマ 暮らしを支え、自治を育て、住民本位の自治体をつくる (分科会番号20-25)

**20 地方分権・地方創生で、
住民の暮らしと地方自治はどうなる**

地方分権、広域連携や、国がすすめる地方創生戦略や道州制導入へのねらいなどを検証し、国・都道府県・市町村の役割と住民生活への影響を考えます。

助言者 村上 博 (広島修道大学教授)

**23 住民の主体性を育む取り組みと
住民の声が生きる自治体づくり**

主権者である住民の声が生きる自治体をどうつくるか?自治体労働者・首長・議会・住民はどんな役割を担うのか?住民の主体性を育み住民自治の力を高める取り組みを学び、交流します。

助言者 岡庭 一雄 (長野県阿智村 前村長)

21 公務の産業化と自治体の役割

すすむ自治体業務の民営化のもと、骨太方針2015などでは「公務の産業化」や公共施設等総合管理計画などが打ち出されています。産業政策としての公務公共業務のアウトソーシングの問題と自治体の役割を考えます。

助言者 角田 英昭 (自治体問題研究所・研究員)

**24 住民のために働く公務労働者の
あり方、仕事を考える**

災害時の対応や住民のくらしを守るため、公務労働者の役割が明らかとなりました。公務員制度改革など厳しくなっていく公務労働者の立場、状況を見えながら、住民のために働く公務労働者のあり方について考えます。

助言者 二宮 厚美 (神戸大学名誉教授)

**22 講座・基礎から学ぶ自治体財政!
ーまちの財政を身近なものにー**

「地方創生」で、自治体の財政はどうなっているのか?地方交付税はどうなる?住民の暮らしを支える自治体財政の基本的なしくみや問題点、財政分析の視点などを学びます。

助言者 平岡 和久 (立命館大学教授)

**25 女性が本当に輝ける地域・
社会にするためには?**

安倍政権の掲げる「一億総活躍」の中で、女性に焦点が当たっています。しかし身の周りを見れば、女性の生きにくさは変わっていません。問題はどこに?変えていくには?女性が本当に輝ける地域・社会にするために考えましょう。

助言者 清山 玲 (茨城大学教授)

現地分科会 (番号26-27)

26 筑波研究学園都市めぐり

筑波研究学園都市は、科学技術の振興と高等教育の充実および、首都圏の過密の緩和のため1963年に建設が決定された「計画都市」です。広い道路と多数の緑地や公園が見られる景観は、この街が国策で建設された証です。ロボット開発や宇宙開発等で時代の最先端をゆく研究所を見学し、あわせて計画都市の影の部分を実地から見てみましょう。

参加費:3000円(昼食代、バス代) 定員:50名(先着順) 開催時間:9時30分~15時30分
集合時間:9時00分 集合場所:臨時バスのり場 9番

27 常総市の豪雨水害とその後~現地視察と学習

昨年の9月に豪雨水害にみまわれた茨城県常総市の現地に赴き、当時の災害対応の状況や現在の災害の復旧・復興の状況などについて現地視察・学習を行います。

参加費:3000円(昼食代、バス代) 定員:50名(先着順) 開催時間:9時00分~15時30分(つくば駅到着)
集合時間:8時30分 集合場所:臨時バスのり場 9番

申し込み要項

***お早めに申し込みください。**

●参加費 住民の方など(自治体職員・議員・自治労連組合員を除く)

2日間参加	1日のみ参加
2,000円	1,000円
自治体職員、議員、自治労連組合員の参加費	
2日間参加	1日のみ参加
6,000円	3,000円

- ※現地分科会は参加費のほか別途実費が必要です。
- ※障害者の介助者、要請レポート報告者、分科会運営委員・集会員については、参加費不要です。
- ※2日目(2日)の弁当(1,000円、お茶つき)を販売します。必要な方は下記の申込書に記入してお申し込みください。後日、日本旅行水戸支店から申込者へ予約確認書と請求書を送付します。弁当申し込みのキャンセルは1日(土)正午までです。それ以降はキャンセルできません。要請レポート報告者には2日の弁当を支給します。
- ※保育室は1日目(1日)、2日目(2日)ともに設けます。1日目は国際会議場、2日目は筑波大学に設けます。保育料は利用日数に関らず1,000円(保険・おやつ代の一部込)です。保育料は当日現金でお支払いください。下記の申込書に記入し事前にお申し込みください。

●宿泊 つくば市内のホテル

区分	シングル利用料金	ホテル名
①	14,040円	オークラフロンティアホテルつくば エポカル
②	10,800円	ダイワロイネットホテルつくば
③	8,100円	ホテルマークワンつくば研究学園(TX研究学園駅)
④	8,100円	ホテルグランド東雲
⑤	7,560円	ホテルつくばヒルズ学園西大通り店

- ・お申し込みは、ホテル区分で申し込みいただき、後日、日本旅行水戸支店から申込者へ予約確認書と請求書を送付します。
- ・空室状況によっては、ご希望どおりの区分のホテルに予約できない場合もございます。ご了承ください。
- ・表の料金は1泊朝食(税・サービス料込)のシングル料金です。
- ・宿泊をキャンセルされる場合は、15日前(9月16日)までにお願います。それ以降については、キャンセル料がかかります。

参加及び
弁当申し込み

受付開始: 7月1日(金) 締め切り: 9月21日(水)

宿泊を伴う
参加申し込み

締め切り: 9月9日(金)

参加申込について のお問い合わせ	日本旅行水戸支店	全体集会・分科会等 企画内容の お問い合わせ	自治労連本部 憲法政策局
	〒310-0026 茨城県水戸市泉町1-2-4 水戸泉町第一生命ビル1階 TEL 029-224-6007 FAX 029-224-9569 [E-mail] mito_net@nta.co.jp		〒112-0012 東京都文京区大塚4-10-7 自治労連会館2階 TEL 03-5978-3580 FAX 03-5978-3588 [E-mail] info@jichiroren.jp

お申込み ※自治労連組合員の方は申込先が異なります(下記参照:日本旅行にはFAXしないで下さい)

下の「申込書」に記述の上、
日本旅行水戸支店にファックスしてください
FAX.029-224-9569 ※電話での申込は受け付けません。

自治労連組合員の方は、
所属する労働組合、または、自治労連の地方組織(県本部)、
県事務所へご連絡ください。

第13回地方自治研究全国集会申込書

フリガナ			都道府県	所属団体・職場等	
名前	男・女				
参加形態 (何れかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 1 一般参加・ <input type="checkbox"/> 2 分科会運営委員・ <input type="checkbox"/> 3 要請レポート報告者・ <input type="checkbox"/> 4 集会員・ <input type="checkbox"/> 5 障害介助者 (※注: 2~5の方は参加費不要、かつ二日目の弁当を実行委員会から提供します)				
連絡先 (自宅/職場)	住所	〒()			
	連絡先電話番号	都道府県	市区町村	FAX	
	携帯電話番号	Eメールアドレス			
参加する日および分科会等 (参加する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 10月1日(土)・ <input type="checkbox"/> 10月2日(日)		分科会番号 を記入	レポート持ち込みの有無 実行委員会からの要請レポート ではありません。持込者印刷	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
弁当 (10月2日) (どちらかに✓印を) 現地分科会は不要	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	保育室の利用 (該当する日に✓印を)	<input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	<input type="checkbox"/> 10月1日(土) 国際会議場	<input type="checkbox"/> 10月2日(日) 筑波大学 (子どもの年齢 歳)
1日(土) 宿泊 (どちらかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 申し込まない・ <input type="checkbox"/> 申し込む		希望するホテル (該当区分に✓印)	<input type="checkbox"/> ①・ <input type="checkbox"/> ②・ <input type="checkbox"/> ③・ <input type="checkbox"/> ④・ <input type="checkbox"/> ⑤	
	禁煙部屋		<input type="checkbox"/> 希望する・ <input type="checkbox"/> しない		
参加費 (どちらかに✓印を)	<input type="checkbox"/> 2日 2,000円 <input type="checkbox"/> 1日 1,000円 <input type="checkbox"/> 不要 ※注 ・自治体職員、議員、自治労連組合員は右欄にて✓印をお願いします。		自治体職員、議員、 自治労連組合員	<input type="checkbox"/> 2日 6,000円 <input type="checkbox"/> 1日 3,000円 <input type="checkbox"/> 不要 ※注	